

命の重み

六年 佐藤美織

「ハムちゃんが死んじゃったらどうしよう」

私は心ぞうがドキドキして頭がまっ白になりました。

私はハムスターをかっています。ジャンガリアンハムスターのハムちゃんはとてもかわいいです。1番目にかわいい所は、夢中で回っている所です。夜中にカラカラと回し車の音が鳴っていると、今日も元気だと思って安心します。野生のハムスターは一日十キロも移動すると本で読みました。家のハムちゃんは毎ばんどこまで旅をしているのかなと考えると楽しい気持ちになります。2番目は、えさをおいしそうに食べている所です。小さい手でひまわりの種をつかんで、もぐもぐ食べているところはとてもかわいいです。ほっぺたいっぱいに食べ物をつめこんでいるところも、いやされます。3番目は、丸くなって団子のようにねているところです。冬はハムスター用のヒーターをつけているのでポカポカしているのか、ひっくり返ってねているときもあります。ハムちゃんをおどろかさないうようにこっそりとハムちゃんの様子を確認するのが私の毎日の楽しみでした。

ある日、ハムちゃんの様子が変でした。よく見ると、口から赤い水ふうせんのような物が飛びだしていました。ハムちゃんはそのしほんだ水ふうせんを必死に口から出そうとしていました。びっくりしてお母さんに調べてもらうと、口から飛び出していたのはハムスターのほおぶくろだとわかりました。すぐに動物病院にいきました。一度ハムちゃんの口にはほおぶくろをもどしてもらったけど、また次の日にほおぶくろが出てきてしまいました。また動物病院にいきました。ハムちゃんはほおぶくろをぬいつける手術をすることになりました。私は待合室ではハムちゃんが心配で心配で手足がふるえていました。無事に手術がおわり、ホッとしました。その日からハムちゃんは、流動食を食べることになりました。ハムスターせん用の流動食があるなんてしりませんでした。毎ばん首のうしろを持って上を向かせ、スポイトで食べさせるのは、かわいそうだったし、大変だったけど、早く良くなってほしいのでがんばりました。そのおかげで、ハムちゃんはすっかり元気になりました。

私はこの出来事から考えた事があります。それは、動物をかうと、いやされたり、元気になつたりするけど、いいときばかりではないと言う事です。病気になつたらしつかりかん病しないといけないし、ちりよう費もかかります。天国に行つてしまつたら、とても悲しいです。みんなも動物をかうときは、そういうことを理解して、かってほしいです。そして、家ぞくの一員として、大事にお世話をしてほしいです。